

訪日外国人旅行者を中心としたお客様向け商品を 取り扱う新規事業会社を設立

～乗り降り自由な周遊型観光バスを東京で運行。京都でも運行予定～

- ◆ 利用開始から24時間（1日券の場合）利用可能で乗り降り自由（※1）
- ◆ 世界150都市以上で運行しており、外国人の利用率が非常に高い
- ◆ 周遊地域の経済活性化や観光振興に繋がる

日の丸自動車興業株式会社（本社：東京都 代表取締役社長：富田浩安）、株式会社 JTB（本社：東京都 代表取締役社長：高橋広行）、京阪ホールディングス株式会社（本社：大阪府 代表取締役社長：加藤好文）の子会社である京阪バス株式会社（本社：京都府 代表取締役社長：鈴木一也）の3社は、個人旅行化する訪日外国人旅行者を主なターゲットに、利便性が高い交通手段を提供し、自治体や法人、地域経済にも貢献することを目的に、乗り降り自由な周遊型観光バスを東京で運行します。

2018年6月14日に、Hop on Hop off Bus（乗り降り自由な周遊型観光バス）である『SKY HOP BUS』の企画・営業を担う新会社『スカイホップバスマーケティングジャパン株式会社』（以下、SMJ）を、3社出資により設立しました。

出資比率／日の丸自動車興業：JTB：京阪バス = 56.6%：33.4%：10%

利用者の9割を訪日外国人が占める『SKY HOP BUS』は、既に2012年より日の丸自動車興業が浅草・スカイツリー／お台場／六本木・お台場の3コースを日英中韓の4言語で運行しています。このたびの新会社では、既存コースの改変を実施し、以下の内容を新たに推進してまいります。

- ①新宿・渋谷を含めた新たなルート設定
- ②10言語を超える音声ガイドの設定
- ③バスを媒体とした広告・プロモーション事業の展開
- ④観光地や交通事業者と連携した企画券やアトラクション等、訪日外国人だけではなく、日本人も楽しめる質の高いサービスの提供

世界 150 都市以上（※2）で運行され個人で観光されるお客様に対応した Hop on Hop off Bus は、バス停周辺の店舗や観光地に少人数からの誘客を促進し、商店街を始めとした地域経済発展や観光振興に貢献します。

まずは、新会社の事業を東京で開始し、将来的には全国展開も視野に入れ、訪日外国人旅行者のリアルな観光データを取得し、マーケティング活動に活用します。

日の丸自動車興業、JTB、京阪バスは、2020 年の訪日外国人旅行者数 4,000 万人の目標達成に寄与すべく、3 社のあらゆるリソースを活用し、取り組んでまいります。



スカイホップバス
マーケティングジャパン
ロゴ



バス車両デザイン(イメージ)

(※1) 24 時間利用可能とは、例えば 12 : 15 に利用を開始した場合、翌日の 12 : 14 まで利用が可能です。但し、バスの運行時間は 09 : 00 ~ 18 : 00 となります。

(※2) Hop on Hop off Bus の世界 150 都市以上での運行 : 当社調べ

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >
JTB 広報室 TEL : 03-5796-5833